

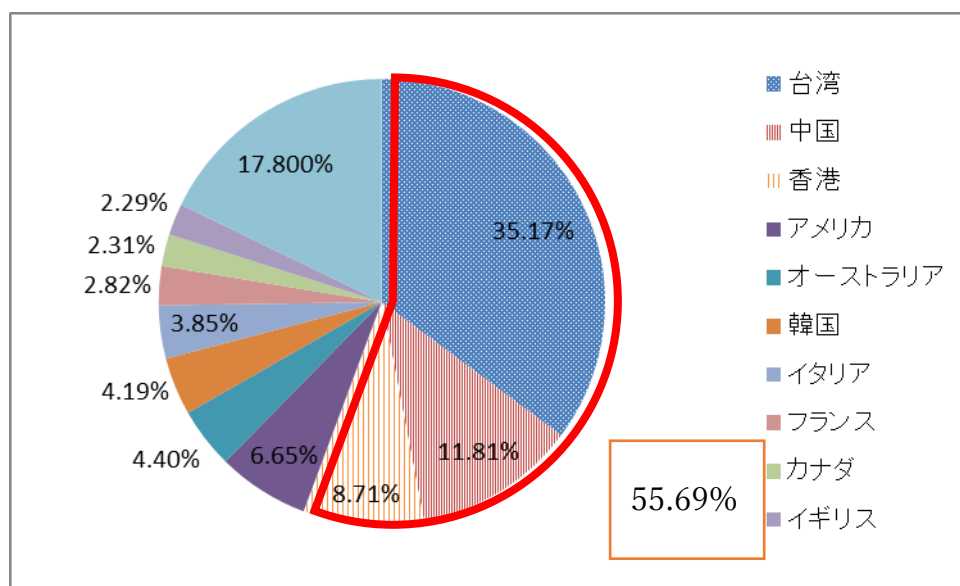
5.地方のインバウンドはリピーターが鍵

石川県に来ている外国人観光客の割合は図表のように、55.69%が中国文化圏からの観光客であることがわかる。さらにもっとも多く来ている国が台湾であり、全体の35%を占める割合となっている。

また国別の訪問地域をみると、リピート回数の多い訪日外国人は地方へ訪問するようになっている。リピーターの数が増え続けている状況で2回目3回目に訪れたいような地域を目指すことで、観光客数を大幅に伸ばすことができる。

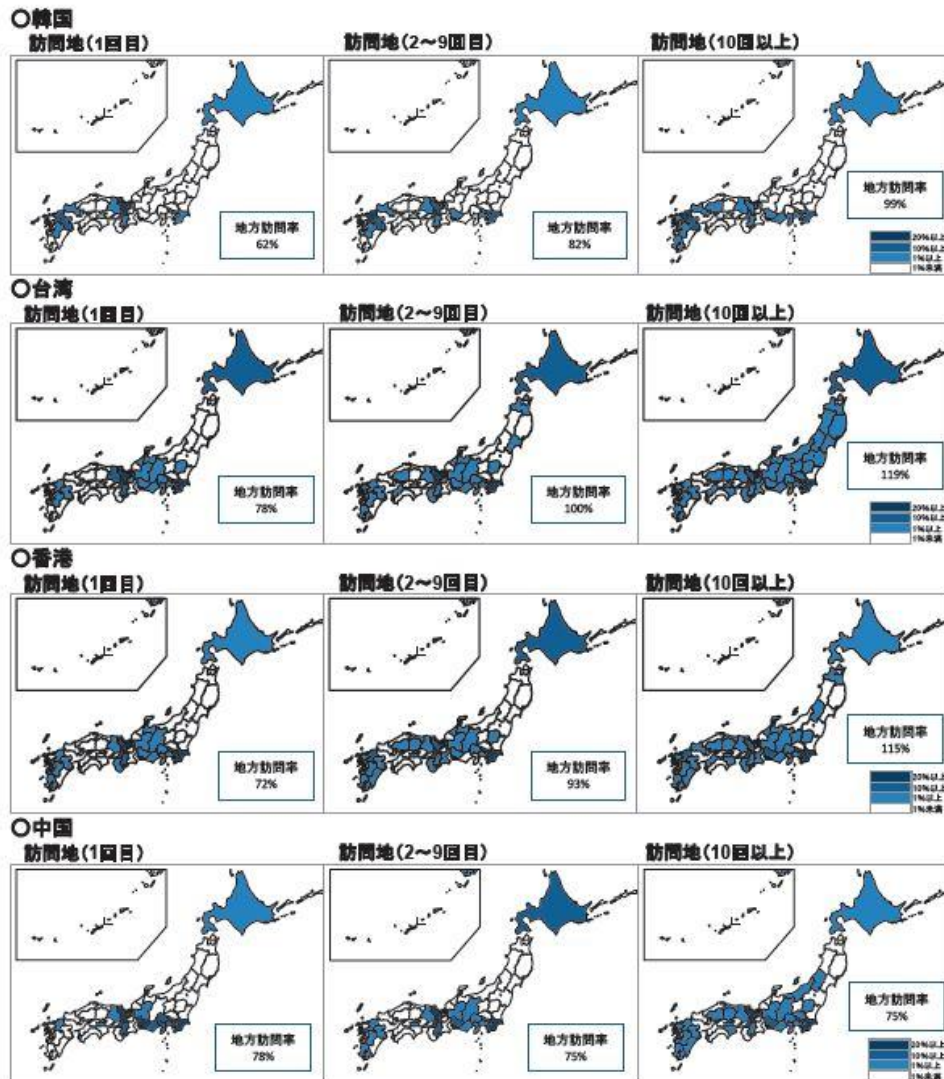
現状、石川県を含めた北陸は他の中部圏に比べ少ない段階での訪問が弱いのが課題である。

図表-1 石川県に来る外国人観光客



※出所：観光庁「平成30年度版訪日外国人動向調査」

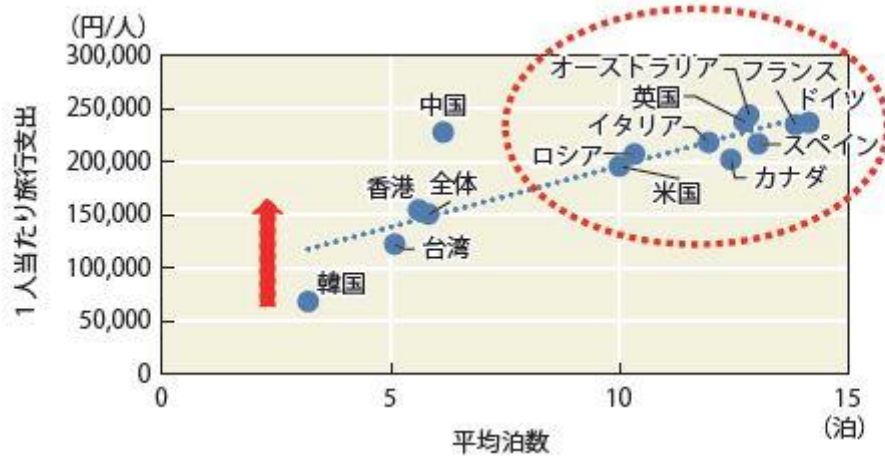
図表-2 国別訪問地域



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」2017年(平成29年)【観光・レジャー目的】
 主1：訪問率は、旅行者が各都道府県を訪れた割合。訪問地には出入国空港の所在地が含まれる。

アジア、特に中国圏からの訪日外国人の数が多いが、ヨーロッパやアメリカの外国人観光客は平均の滞在時間が非常に長い。平均宿泊日数は10日を超え、その分の支出もアジアからの観光客に比べて高くなっている。

ヨーロッパやアメリカからの訪日外国人に向けては、長い滞在時間であるので同じ場所ではなく様々なところを周遊する。そのなかで独自の体験の提供などできるかが鍵となってくる。



※出所：観光庁「平成 30 年度版訪日外国人動向調査」